足利赤十字病院神経精神科を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております.本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されてない場合は,下記の問い合わせ先にお問い合わせください.

研究課題名	拒食症の再栄養時のリフィーディング症候群の要因の検討(後ろ向き研究)
当院の研究責任者	船山道隆（神経精神科）
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	本研究の目的は，リディーディング症候群に影響する背景因子，特に再栄養の方法の違い（経静脈あるいは経口投与）がリフィーディング症候群にどのように影響するかどうかも明らかにすることです.
調査データ該当期間	1998 年 4 月から 2025 年 5 月まで診療情報を調査対象とします
研究の方法	★対象となる患者様 1998 年 4 月から 2025 年 5 月に当院神経精神科に拒食症のために入院した患者様 ★方法と利用する情報 主要評価項目は，各種電解質（リン，カリウム，マグネシウム，カルシウム），血球成分（ヘモグロビン，白血球，好中球，リンパ球，血小板），肝機能（AST，AST），血糖値の入院時および最低値（肝機能は最高値）対する関連因子です. 調査項目は,上記の主要評価項目に加えて，年齢と性別，拒食症発症からの経過年数，過食嘔吐を伴っているかの有無，入院時の vital 所見（脈拍，血圧，体温），血液検査所見（アルブミン，尿素窒素，クレアチニン，ヘマトクリット，MCV，総ビリルビン，PT），body mass index（身長と体重から計算），体重の推移（入院 1 か月後，1 か月後，退院時），栄養投与量（経口と点滴をそれぞれ別に），各種電解質の補充量（経口および点滴をそれぞれ別に），輸血あるいはアルブミンの投与の有無，肺炎などの入院時の身体合併症の有無を過去のカルテから抽出します. 統計手法に関しては，多変量線形回帰にて統計処理を行い,それぞれの主要評価項目に関連する因子を求めます.
情報の他の研究機関への	なし

提供	
個人情報の取り扱い	利用する情報から患者様を直接特定できる個人情報は削除しています. また研究成果は学会発表や論文化を予定していますが,その際も患者様を直接特定できない形式となっています.学術誌での公開後にデータは破棄します.
本研究の資金,利益相反	ありません
お問い合わせ先	電話 0284-21-0121 担当者：神経精神科　船山道隆